

## 第2回四日市市大学構想策定委員会会議録（要旨）

1. 日 時 令和5年7月10日（月）午後3時から午後5時15分まで
2. 場 所 本部員会議室
3. 出席者 （策定委員会委員）  
谷口 研二委員長、近藤 元博委員、加藤 真紀委員、  
種橋 潤治委員、堀 加奈委員、舘 英次委員  
（アドバイザー）  
一般社団法人国立大学協会 審議役 玉上 晃  
国立大学法人三重大学理事 吉岡 基  
鈴鹿高等専門学校校長 竹茂 求  
（四日市市）  
荒木政策推進部長、渡辺政策推進部理事  
矢澤政策推進課長、加藤政策推進課副参事  
（事務局）  
櫻井政策推進課付主幹、井上政策推進課主幹、河合政策推進課主幹
4. 議事概要
  - (1) アンケートについて
    - ・ J R 四日市駅前の大学設置に関するアンケート調査結果＜速報版＞  
別紙資料のとおり
  - (2) 企業ヒアリングについて（非公開）
    - 市内企業4社に対して委員によるヒアリングを実施
      - ・ 新規採用者の最終学歴
      - ・ 従業員の教育方針・体制
  - (3) 意見交換（非公開）
    - 企業ヒアリングの所感、本市において求められる大学像について委員による  
意見交換を実施

・JR四日市駅前の大学設置に関するアンケート調査結果<速報版>

## ア. 調査概要

- (ア) 期 間：2023年6月16日(金)から6月30日(金)
- (イ) 方 法：郵送調査およびインターネット調査（併用）
- (ウ) 依頼先：①四日市商工会議所 常議員・議員企業 264社  
②上記①以外の北勢地域の企業 89社、(合計 353社)  
(建設業、製造業、情報通信業、運輸業、小売業、宿泊業、飲食サービス業等)
- (エ) 依頼者：上記(ウ)の依頼先における  
①人材採用・育成担当者（以下「企業向け」）  
②若手社員（以下「若手社員向け」）
- (オ) 回答状況：企業向け 106社（郵送61社、インターネット 45社）  
(回答率30.0%)  
若手社員向け261名（郵送81名、インターネット180名）

## イ. 速報版の主な特徴

### (ア) 企業向けアンケートについて

回答者の主な属性について

- ・所在地は、「四日市市」が77.4%
- ・業種は、「製造業」が36.8%、建設業が17.9%
- ・企業規模は、中小企業(21人～300人)57.5%、大企業(300人～)32.1%

### ①従業員に対して重視する資質について

「協調性・コミュニケーション能力」「判断力・考える力」「探求心・研究意欲、自己研鑽への意欲、創造力」といった、異なる考えや価値観を持つ人々とも相互に信頼関係を構築し、協働するためのコミュニケーション能力や、思考力・判断力、探求心・意欲等に関する割合が高い。

### ②従業員に対して重視するスキル・資格について

「専門分野に関する技術・知識力」「業務に役立つ資格・免許の取得」「ITを使いこなす一般的な知識・能力(OA・事務機器操作)」など、専門分野への知識、資格・免許取得に加え、IT・データ処理に係る能力全般に関する割合が総じて高い。

### ③大学と協力して実施したい教育について

「デジタル技術を活用して技術革新や生産性向上の提案ができる能力」  
「プログラム、システムを自ら開発または運用できるスキル」「語学・国際化対応能力」「業務を遂行する上で有益なITリテラシー」など、IT・デジタル技術に関する従業員への高い教育ニーズが伺える。

#### ④四日市市が四年制大学設置を計画していることへの興味について

「興味を感じる」「少し興味を感じる」の回答で8割強を占めており、四日市市が新たに計画する四年制大学設置に対し、興味・関心の高さが伺える。

#### ⑤ 上記④（興味を感じる）理由について

「地元高校生の進学や卒業後の地元就職を重視し、地域に根差してくれそうだから」「地域の発展に貢献し、活性化につながりそうだから」との回答が多く、地域の活性化および地域への人材輩出への期待が伺える。

#### (イ) 若手社員向けアンケートについて

回答者の属性の特徴として、

- ・年齢は20歳代が82.0%
- ・最終学歴は大学卒以上が76%（文系理系割合はほぼ半々）
- ・勤続年数は6年未満が81.2%
- ・業務内容は専門的・技術的な仕事が40.2%、事務的な仕事が26.4%

#### ①就職後に役立った学生時代の教育・経験について：

「専門知識・理論に関する教育」「教養教育」「ITを使いこなす一般的な知識・技術（OA・事務機器操作）に関する教育」の回答が多く、企業活動に直接的に利活用が可能な専門知識やIT技術等に加え、豊かな人間性を養い、幅広い視野で物事を総合的に捉え、判断する能力に繋がる教養教育の割合が高い。

#### ②学生時代に学んでおけば良かった教育・経験について：

「現場で役に立つ資格・免許の取得」「専門的なITの知識・技術（システム開発・運用、プログラミング等）」「ITを使いこなす一般的な知識・技術に関する教育」「経営に必要な知識、理論に関する教育」など、現業に求められる資格・免許取得および業務に必要となるデジタルおよび経営の知識・スキルへのニーズが高い。

#### ③今後実施したい自己啓発・能力開発について：

「現場で役に立つ資格・免許の取得」「専門的なITの知識・技術（システム開発・運用、プログラミング等）」「専門知識、理論」の順にて、現業の専門性に特化した知識・技術の修得へのニーズが高い。